

NPO 横断型基幹科学技術研究団体連合  
2006 年度 第 3 回理事会 議事録（抄録）

日時：2006 年 8 月 18 日（金）15:00 ～ 17:00

場所：キャンパス・イノベーションセンター 805 号室（東京都港区芝浦）

出席者：（敬称略、順不同）

理事：木村英紀、江尻正員、旭岡勝義、石原 直、長田 洋、木村忠正、清水義雄、鈴木久敏、  
出口光一郎、西村千秋、能勢豊一、原 辰次、廣田 薫、藤井眞理子、安岡善文

委任状提出者：矢川元基、柳川 堯

監 事：千原國宏

事務局：井上雄一郎、清水祐美

議事：

I. 理事会成立の確認：理事総数 23、出席者 17（うち、委任状提出者 2）

II. 議長の選任および議事録署名人の指名

議長：江尻正員理事・副会長

議事録署名人：江尻正員理事・副会長（議長）、木村英紀理事・副会長、出口光一郎理事

III. 議事経過の概要および議決の結果

A. 審議・決議事項

A-1. プロジェクト一括請負契約書ひな型案について

プロジェクト一括請負契約の最初のケースとなるプロジェクトについて、横幹連合＝企業間の契約がほぼ合意に至り、近々正式に契約を結ぶ見込みであり、続いて、横幹連合＝大学等研究機関間の契約に向け調整を行う予定であることが報告された。

次のような意見交換を行い審議した結果、プロジェクトにかかわる契約書ひな型一式、および、契約行為を行うことを承認した。また、プロジェクトの契約については、江尻副会長と、産学連携担当の矢川理事に一任することを確認した。ただし、実際の契約後、理事会への報告と追認手続を行う。

- ・守秘義務との関係上、情報開示の範囲は制約を受けるが、判断に必要なプロジェクトの契約概要（委託者、受託者、プロジェクトの対象領域等）を、理事会に対して提示する。

- ・費用後払いは、国立大学では受け入れられにくいのではないかと。一方、企業側は出来高払いが原則。

大学との契約時の支払い方法については、さらに検討し、状況に応じて調整する必要がある。

A-2. 分野統合・融合教育及び人材育成プロジェクトの提案

分野統合・融合教育及び人材育成にかかわる調査研究が提案された。審議の結果、本件はまず学術・教育・国際委員会での検討を経ることとした。

B. 報告・承認事項

B-1. 各委員会からの報告

(ア) 企画委員会： 第 2 回会合の概要が報告された。

(イ) 事業・広報・出版委員会： 第 3 回会合の概要が報告された。

(i) 出版：会誌について、2007 年 4 月からの刊行に向け、次のような検討を行っている。

- ・仕様：発行頻度は年 2 回（第 1 号＝2007 年 4 月、第 2 号＝10 月）、各号 50～60 ページ、刷数 500 部。各号の構成は、解説記事 3 件、論文 5 件程度。投稿料（別刷代を含む）は 1 件につき 10 万円（論文）、4 万円（解説等）を想定。

- ・体制：本委員会の下に会誌編集委員会を組織する。委員長は原理事、副委員長は廣田理事（出版担当）と長田理事（企画担当）。編集委員（10名程度）と査読委員の推薦を会員学会に依頼。
- ・予算：1号あたり30万円程度の経費の見込み。2007年度予算に2号分の経費を計上したい。
- ・編集方針：従来の学会誌とは一線を画する、横幹連合ならではの会誌を目指す。

(ii) 広報：ニューズレターを予定通りに発行した。

(iii) 事業：各催事の支援に取り組んでいる。

(ウ) 学術・教育・国際委員会（鈴木理事） 下記シンポジウムの開催を承認したことが報告された。

(i) 共生コミュニケーション支援調査研究会：共催シンポジウム

(ii) シミュレーションとSQC調査研究会：シンポジウム協賛

(iii) 第45回ビジネスショウ KANSAI2006「経営(学会)フォーラム」：協賛

(エ) 産学連携委員会：第12回、第13回横幹技術フォーラムの開催案が報告された。サブライチェーン」をテーマに、2回シリーズで行う。

## B-2. 学としての知の統合委員会

第1回会合が開催され、吉川会長、出口理事によるプレゼンテーションと、それらを踏まえた討論を行ったことが報告された。また、第1回知の統合ワークショップについて、開催企画案と、開催後は成果を冊子として取りまとめる予定であることが報告された。

B-3. 第1回横幹連合総合シンポジウム開催準備状況：プログラム最終案が報告された。

## B-4. 第2回横幹連合コンファレンス開催準備案

開催準備に向け素案が示され、これを受けて討議した結果、次の通り準備を進めることとした。

- ・開催日：2007年11月29日、30日の2日間を第1候補とする。
- ・会場：京都大学百周年時計台記念館を第1候補とする。
- ・体制：実行委員長は榎木理事、副委員長は安岡理事と能勢理事とし、プログラム委員長は椿 広計氏（筑波大学教授）を第1候補とする。その他の委員等の選出は、実行委員会、プログラム委員会に一任する。
- ・幹事学会：委員長の榎木理事に一任する。幹事学会には事務実務面での支援も依頼。
- ・予算：2007年度予算立案の際に、具体的に検討する。収益は必須ではないが、損失は出さないようにしたい。必要に応じて後援金、広告等の収入の途を検討する。
- ・その他：開催準備案に挙げられている21世紀COEプログラム「動的機能機械システムの数理モデルと設計論」に、後援を依頼する。その他、必要に応じて依頼を検討する。

## C. その他

### C-1. 事務局からの報告

(ア) 会計報告：7月度の会計が報告された。

(イ) サーバについて：有償によるメンテナンスを業者に依頼すること、またその間、ホームページの閲覧、電子メールの送受信が一時停止することが報告され、承認された。

以上